総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成25年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（　9/11）

	評価区分（*1）	総合評価（IとIIの平均値にIIIを加味）	Ⅰ目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ現地調査時の指摘事項及び対応状況等（*2）	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
環境観光モデル都市づくり推進特区 （広島県）	正	C 3.3	C 3.0 進捗度 ・世帯あたりにおけるCO2排出量（家庭部門、運輸（旅客部門）の自家用乗用車利用による排出を含む） 51% ・環境学習等を目的とした産業観光客数 92%	B 3.6 規制の特例等 ・改造電気自動車等のバッテリーから家庭への給電に関する基準の明確化　等 財政支援等 ・地域内の最適なエネルギーマネジメント構築事業・地域エネルギーバックアップシステム構築事業 地域独自の取組 ・広島県総合特区事業費補助金　等	±0.0	・EV普及の遅れは全国的であり、むしろEV導入世帯のCO2排出削減効果の高さ（※1）を評価できる。 ・「環境学習等を目的とした産業観光客数」の評価指標については、指標の変更（※2）とそれに応じた対策（※3）が検討されていることは評価できるが、具体的な事業の取組みと進捗の把握が必要である。 ※1：自治体の評価書において、EV導入世帯においては、30%以上の1世帯当たりのCO2排出量の削減を達成していると評価されている。 ※2：従来な目標は、対象者を小中高生に限定するとともに、対象地域も尾道市及び福山市のうち鞆の浦、みろくの里に限定していたところ、24年度評価における委員指摘を踏まえ、対象者を大人まで拡大するとともに、対象地域を尾道市、福山市の全域としたところ。 ※3：福山市において、次世代エネルギーパークを拠点としつつ、①環境にやさしいエコモビリティの導入、②環境観光受入体制の整備、③環境観光のコース化、④学習サポートサービスの充実、⑤積極的な情報発信に取組むとしている。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。　*2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。